

山梨県警察官採用に関するQ&A

Q 1 他都道府県にはない、山梨県警の魅力は何ですか？

小規模県警ゆえに、一人の職員が経験できる業務の幅が広く、業務経験を通して自分自身の成長を感じられると思います。また美しい山々に囲まれた自然豊かな地域で、職員・地域の方々との関係性を大切にしながら働くことができます。



Q 2 勤務時間（通常勤務、毎日勤務、交替制勤務）はどうやって決定されるのですか？

配属先の勤務形態・勤務内容により勤務時間が決まります。

Q 3 過去に採用試験を不合格になった人や社会人は、新卒より不利になりますか？

過去の試験結果が受験する試験に影響することはありません。新卒であっても社会人であっても、採点の基準は同じなので、社会人が不利になることもありません。

Q 4 一般企業や別の公務員から警察官に転職することは可能ですか？

可能です。採用時の年齢が33歳以下の方であれば、どなたにも転職のチャンスがあります。

Q 5 筆記試験は何点とれば安心ですか？

各試験の累積が合否に影響しますので、安心といえる点数はありませんが、教養試験の得点が、配点の3割未満の方は不合格になる可能性があります。また武道（柔道・剣道）、英語、情報処理の区分で一定の資格をお持ちの方は、1次試験で加点される資格加点制度があります。詳しくは試験案内をご覧ください。

Q 6 就職後3年以内の離職率はどのくらいですか？

就職3年目の職員の離職率は、4.2%です。（H31年度採用者）

Q 7 面接試験で目にとまる受験者はどんな人ですか？

警察官になって頑張りたいという気持ちを自分の言葉で伝えようとしている方です。

Q 8 今から勉強しても間に合いますか？（大学3年生）

現役若手職員の3割が半年前から試験対策をして合格しています。過去問等を利用して勉強をしていただければ充分間に合います。

Q 9 持ち家がある場合に、持ち家から離れた遠方の部署に異動することがありますか？

異動は本人の希望、適性、職員の配置状況等により決まるので、持ち家から離れた部署に配属されることもあります。しかし、現在は居住制限が緩和され、一部例外もありますが、配属部署の近くに居住する必要がなくなったため、自宅から通勤することもできます。

Q 10 警察官と行政職員の両方の採用試験を受けられますか？

可能です。警察官か警察行政職員か決めかねている方は、両方受験し、警察職員として働くチャンスを広げてください。

Q 11 警察官としてのやりがいは何ですか？

地域の安全に貢献している、地域住民から感謝をされる、頑張った分だけ評価される（昇任のチャンスがある）、仕事に見合った収入がある、信頼できる上司や同僚と一体感をもって仕事ができる、様々な業務を通じてスキルアップができる等、やりがいは人それぞれにあると思います。警察官になって各々のやりがいを見つけてください。

Q 12 警察官の採用試験を受ける人の併願先はどこが多いですか？

現役若手職員の約3割が併願していました。併願先は民間企業や他官公庁等多岐にわたります。

Q 13 どのような人物が警察官に向いていますか？

地域のために何かしたい、人の役に立ちたいと思っている人、チームワークを大事にできる人は警察官に向いていると思います。

Q 14 警察官をしていてよかったと思うことは何ですか？

犯罪の捜査や交通取締り等ほかの公務員や民間企業では得られない経験ができること、利益追求ではなく社会正義実現のために仕事ができることです。

採用試験に限らず、業務内容や警察学校の生活等、警察官・警察行政職員を志すうえで疑問・不安に思うことがあれば、随時回答しますので、0120-314-874（採用専用ダイヤル）または055-221-0110採用係（山梨県警察本部）までご連絡ください。

また、山梨県警では今後も各種業務説明会を予定しています。詳細は県警ホームページやツイッターで公表しますので、チェックしてください。

